
無題

Yellow

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無題

【コード】

N9314Q

【作者名】

Yellow

【あらすじ】

妄想の宝庫、お風呂場

何を考えていたんだろう

別に何かに集中していたわけでもなかった

風呂場でふと気づいた

シャワーを浴びながら口を半開きにして呆けていた

でもたしかに僕の脳みそは何かを目まぐるしく考えていた

何かってなんだ。何を考えていたんだっけ

明日の予定、ちょっと先の期末テスト、好きなキャラ、好きなエロシチュエーション、今晚のおかず、今晚のオカズ、今日のオナニー、あと1年を切った進路について……

いろいろ考えてはいるらしい。漠然と、すごく漠然と考えてはいるようだ

じゃあ実際にどんなことを考えていたのと聞かれたら、僕はどうしようも答えられない

考えているというのは上辺だけで、考えてないのかもしれない
考えているフリをしていたのかもしれない

いや、考えていた……気がする
自信がなくなる

我に返って

髪を洗いながら目を瞑る

何を考えているのか考えてみた

1分・・・

2分・・・

ひたすらに考えた。

答えが出た気がした。

髪を洗い流そう。

呆けていた

気づけば目は半開き、口も半開き

傍から見たらものすごいアホ面に違いない

体も洗い終わり、湯船につかる

自分の仮性包茎のアレを見ながら物思いにふける

途中、チラッとデジタル表示の時計に目をやる。21時10分。

また目を伏せ、下を見、考えるフリ。

先週あった大会のこと

何処の場面でどういった行動をしていればよかったのか、考え直してみる

敵の数、ライン際でのタックル、サインミスときの心情

あの時ああしてればがいくつも思い浮かんだ

そして自分が最善だと思う、理想の行動を想定してみる

自分がヒーローみたいな、特別な存在になってた

ヒーローになって、試合で活躍して、メンバーと笑ってるところ

妄想を出し尽くしたところで我に返り、時計を再度見る。21時1

5分

鼻で笑う

体を起こし、風呂から上がる

鼻歌交じりにバスタオルで体を拭く

パンツを履いたあたりで気づいた

ああ、僕も普通の人なんだたと。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9314q/>

無題

2011年2月19日18時21分発行